

DUET デュエット

2019.4
VOL.28

GUIDE DOG
MAGAZINE



特集

もっと知りたい!盲導犬のこと

~盲導犬を育てる人々~

★募金箱設置店募集中★

認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 募金箱



サイズ
幅:13cm
奥行:16cm
高さ:25cm

子犬募金箱



サイズ
幅:14cm
奥行:21cm
高さ:33cm

成犬募金箱



サイズ
幅:14cm
奥行:21cm
高さ:27cm

パトラッシュ募金箱

©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

まずは、お気軽にお電話ください。

☎ 03-5367-9770



都道府県別の盲導犬実働数

🐾 941頭 (※) 🐾

(※)全国盲導犬施設連合会に加盟していない育成団体の数字も含む

北海道…51	埼玉県…48	静岡県…45	鳥取県…4	佐賀県…6
青森県…6	千葉県…28	愛知県…36	島根県…13	長崎県…3
岩手県…10	東京都…103	岐阜県…6	岡山県…16	熊本県…5
宮城県…24	神奈川県…67	三重県…9	広島県…27	大分県…13
秋田県…13	新潟県…32	滋賀県…11	山口県…16	宮崎県…11
山形県…7	富山県…7	京都府…13	徳島県…3	鹿児島県…15
福島県…19	石川県…16	大阪府…59	香川県…8	沖縄県…7
茨城県…15	福井県…6	兵庫県…43	愛媛県…11	
栃木県…12	山梨県…19	奈良県…16	高知県…8	
群馬県…8	長野県…20	和歌山県…4	福岡県…22	

2018年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会 盲導犬委員会 「平成29(2017)年度 盲導犬訓練施設年次報告書」より

DUET

2019年4月発行 編集人/篠田 林歌 認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 発行
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階
TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp

年1回4月発行

訓練士と歩行指導員の資格を、各団体が自分達で個別に認定してしまうと、育った盲導犬の能力にばらつきがで、盲導犬を利用する視覚障害者にとって大きな課題となっていました。

これまで、各育成団体が認定していた盲導犬訓練士(以下 訓練士)と盲導犬歩行指導員(以下 歩行指導員)の資格認定を全国盲導犬施設連合会へ委託し、盲導犬歩行指導員等資格認定事業を始めることで統一したのです。

2007年、全国盲導犬施設連合会と加盟育成団体は、一つの大きな決断をしました。

同じレベルの盲導犬を輩出するために

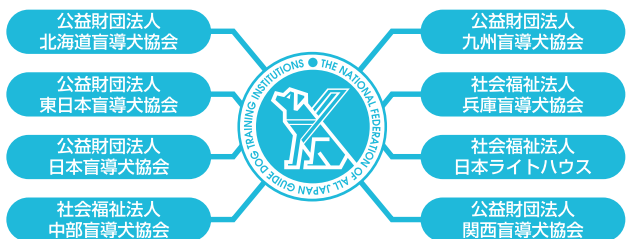


勿論、受験資格があっても実技審査で落ちてしまったら、再度試験を受けなければなりません。さらに実技審査員も10年以上勤務歴のあるベテラン指導員ですが、自身

資格認定試験を受験する為には
①規定された頭数の訓練実績を積み
②規定された学科36科目を習得し、テストで合格点を取得する
③盲導犬育成ジャパンセミナーへ参加(歩行指導員は研究発表)
と厳しい受験資格をクリアしなければなりません。中には試験の時期までに受験資格を取得できず、涙を呑む受験生もいます。

自らを厳しく律する体制づくり

そこで、全国どこの育成団体でも同じレベルの盲導犬を輩出できるように、訓練士と歩行指導員の資格基準を統一化、さらには知識や技能について学科と実技試験により、職務にふさわしい能力を備えているか、十分に審査した上で訓練士と歩行指導員の資格を認定していくことにしました。



全国盲導犬施設連合会
加盟育成団体

・加盟していない3団体は自団体で認定



(※) 盲導犬ユーザー!...盲導犬使用者のこと。以下、ユーザー。

盲導犬候補犬を訓練する「盲導犬訓練士」、そして盲導犬との歩き方や毎日の世話の方法を視覚障害者へ指導する「盲導犬歩行指導員」、どちらも必要な知識・態度・技術の3要件を持つと認定された者が有資格者として日々、仕事に取り組んでいます。ではそれぞれの資格の「認定」はどこで・誰が・どのようにしているのでしょうか?本紙で詳しくご紹介します!



〈歩行指導実技〉

ユーザーに見立てた審査員に対して歩行指導している様子を、審査員が審査します。

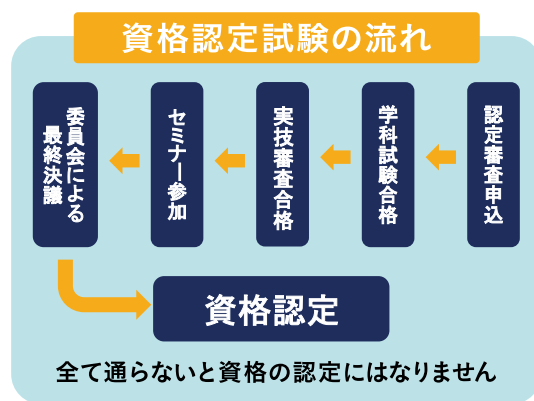


〈盲導犬育成ジャパンセミナー〉一堂に会して学びます。

学習内容は幅広く

訓練士、そして歩行指導員として働く為には、資格取得要綱に定める学科試験と一定頭数の訓練実績をクリアした上で、実技審査を受けることとなります。

まず学科目では、犬のこと、視覚障害、歩行理論や指導法、福祉、障害者心理など、必要な知識を幅広く勉強し、



修得できているかどうか試験を受けます。学科試験に合格しないと、その年の実技審査に進むことはできません。

実技審査は緊張の連続…

学科目をクリアすると、次はいよいよ実技審査です。受験生たちは決められた課題について犬の訓練実技、歩行指導実技を審査員の前で披露します。

ざらりと並ぶ審査員を目の前に実技することは受験生には緊張の連続です。一方審査員達も、盲導犬事業の未来を担う受験生の実技には真剣なま



なざしを向け、審査します。

実技審査は、受験生にとっても審査員にとっても、年に一度の一大イベントです。

審査員は、各課題における受験生の動きや判断をよく観察し、評価します。

実技審査後に審査員全員による判定会議を行い、申請資格に足る力量が認められた受験生は「面接」を受けた上で、「資格認定委員会」へ推薦され、資格の可否が決定されます。

さらに、最終的には理事会の承認を経て晴れて合格！となります。

互いの知識を学び合う研鑽の場

2015年度から、全国盲導犬施設連合会では新たな事業として、各育成団体の訓練士等が現場での事例研究の成果を発表し合う「盲導犬育成ジャパンセミナー」を開催しています。

訓練士と歩行指導員の資格認定では、学びの場としてセミナーへの参加、歩行指導員の場合は自らの研究発表も資格取得の項目になります。

お互いの知識を学び合い、共に議論する中で、良質な盲導犬育成、そして視覚障害者の、より一層の自立支援を実現していくことを目指し、受験生達には本セミナーへの参加を必須としています。

合格者の声

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会 訓練士 宮本 奈都美

試験には学科と実技があり、学科の内容は、犬の健康管理や訓練、法律や視覚障害についてなど多岐にわたりますが、どの科目も訓練士になるために必要なもので、必死になって勉強しました。

また実技では、自分が訓練した犬と一緒に試験を受け、審査員の前で基本訓練や誘導訓練を行い審査して頂きました。ベテラン歩行指導員に囲まれ、当時は物凄く緊張したことを今でも覚えています。

私は現在、歩行指導員を目指し、先輩に指導して頂きながら盲導犬を希望される視覚障害者との共同訓練に携わっています。ユーザーとなる方には、少しでも長く盲導犬と安全に歩行してもらえよう、歩行指導やサポートをもっと充実させていきたいです。



公益財団法人 北海道盲導犬協会 歩行指導員 相馬 邦啓

全国盲導犬施設連合会の資格認定試験では、決められたテーマのもと、歩行指導員を志す他施設職員と共にそれぞれの観点から歩行指導について意見交換する場があり、非常に有意義でした。

互いの施設のやり方を尊重し、その上で気づいた点を指摘し合える環境作りをしていただけなのに、心から感謝します。

視覚障害者のニーズは常に変化し、また、世間の盲導犬に対するとらえ方も変化してきています。我々歩行指導員も、その時々に合わせて盲導犬育成を意識し続けなければなりません。

視覚障害者の方々にとって常に盲導犬が魅力的な存在であり続けられるよう、時代の流れや変化に対する敏感さを持ちながら、盲導犬育成に取り組んでいきたいと思っています。



視覚障害者の安全な歩行に向けて

私たちの社会的役割は、盲導犬の普及を通じて視覚障害者へ安全で快適な歩行を提供することです。

そのため、事業の根幹を担う訓練士、歩行指導員達には十分な知識と技術、そして常に視覚障害者に寄り添い学び続ける姿勢が備わっていないければなりません。

訓練士、歩行指導員の資格合格までの道のりは大変厳しいものですが、視覚障害者の命を守る盲導犬を育成する訓練士、そして歩行指導員の資格は、厳格に審査する必要と価値があるものなのです。

全ては視覚障害者の安全な歩行のために。

全国盲導犬施設連合会と加盟育成団体は一丸となり、これからもその使命を果たしてまいります。

補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を

全国盲導犬施設連合会では、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示すための「補助犬同伴可ステッカー」を作成しています。

このステッカーを店頭に貼っていただくことにより、一般のお客様に補助犬に対する理解を深めてもらうとともに、補助犬ユーザーの方々には安心して各施設を利用できることを趣旨としています。

「補助犬同伴可ステッカー」についてのお問い合わせは全国盲導犬施設連合会にお電話(03-5367-9770)、もしくは当連合会ホームページをご覧ください。

OK!



〈補助犬同伴可ステッカー〉

皆様に支えられ

1 誕生

盲導犬に適した血統を持つ繁殖犬から生まれます。

2 生後2か月頃

パピーウォーカー（子犬を飼育するボランティア）の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。

3 訓練スタート

1歳になると、盲導犬協会に戻ってきて、約6～12ヶ月間、盲導犬になるための訓練を受け、その間に盲導犬としての適性も評価されます。

4 共同訓練

盲導犬としての適性が認められた犬は、視覚障害者との共同訓練に入ります。

視覚障害者は、盲導犬との歩き方や毎日の世話の仕方を学びます。

さらに視覚障害者の生活エリアで歩行指導も受けられます。



5 共に歩く

ユーザーと盲導犬は互いに協力し、パートナーとしての絆を深めていきますが、ユニットとなった後も、必要に応じてフォローアップが行われます。

6 ハーネスを外す日

盲導犬は10歳前後を目安に引退します。引退した盲導犬はボランティアの家で家族の一員として楽しく暮らしたり、育った協会で十分なケアを受けながら、最期まで皆に愛されて過ごします。



盲導犬はこんな一生を送ります



盲導犬ユーザーからのメッセージ

マーチと一緒に快適な生活を送っています

竹田 武夫さん&盲導犬マーチ (兵庫県)

私は夜盲症、視野狭窄及び視力低下が進行する網膜色素変性症です。

10年前から自覚症状が始まり、現在はかなり進行しています。

当時、「現在の医学では同病気の治療法がなく、見えなくなった時に慌てないように道具などを使って、見えているうちに準備をなささい」と眼科の先生から指導を受け、安全に歩行ができるように盲導犬と歩くことを決めました。



ぶつからない安心感

マーチは現在2頭目のパートナー。24時間一緒にの生活です。ユーザーとなつてよかったことは数え切れませんが、特に歩行中の障害物を回避でき、とても助かっています。

透明なガラス扉、歩道の車侵入止めポールや、前方不注意歩行者、立ち止まっている人など、街中にはあらゆる障害物が存在しますが、マーチと一緒にならぶつからないので心地よく街を歩くことができます。

犬との生活がもたらす変化

また、盲導犬との暮らしで、私の心にも変化が訪れました。見返りを要求しない、恨まない、妬まない、欲しがらない、言い訳をしない、文句を言わず待つ心など、犬の純真な生き方に自分自身を振り返り見直すことを、マーチから教えられています。

視覚障害者が外出することはリスクが多いです。

ですが、盲導犬と歩行訓練中に受けた基本を忘れずに行動すれば、事故に遭遇することもなく行動範囲が広がります。

快適な生活を送れるようになりますので、皆様には盲導犬のことを正しく理解して関心を持ってもらえたら嬉しいです。



募金箱設置・寄附協力企業

敬称略・あいうえお順

- イズミヤ(株)
 - (株)エコス
 - (株)ゲオ
 - (株)セブン&アイ・フードシステムズ
 - (株)ダイエー
 - (株)フジ
 - (株)マスタ
 - メットライフ生命保険(株)
 - (株)ヨークマート
 - (株)和真
- (株)イトーヨーカ堂
 - (株)銀座マギー
 - ジェームス
 - (株)たいらや
 - フェリシモ基金事務局
 - (株)ベルシステム
 - (株)明光ネットワークジャパン
 - ユニー(株)
 - (株)LIXILビバ

以上の企業様のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、当連合会の活動は支えられ、運営されています。

皆様からお寄せいただく募金・寄附は、盲導犬無償貸与事業にかかる費用として役立てられる他、盲導犬訓練士の資格認定、全国的なイベントでの啓発活動など、盲導犬事業上、共通に関わる費用として、活用させていただきます。

盲導犬と歩くユーザーに出会ったら

皆様への大切なお願い

盲導犬は仕事中、白または黄色のハーネスをつけています。



●ユーザーの方へ声をかけてください

盲導犬を連れていても道に迷ったり、周囲の状況が分からず不安になる場合があります。ユーザーが困っている様子を見かけた際は、盲導犬にではなく、ユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」と声掛けをお願いします。

●ハーネスをつけた盲導犬は「仕事中」です。

盲導犬はハーネスをつけている時は仕事に集中しています。さわったり声をかけたりしないようにお願いします。また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。気が散ってユーザーを安全に誘導できなくなってしまいます。

●盲導犬におやつなどの食べ物をあげないでください。

盲導犬は、健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするために食事の時間・量も決まっております。犬の体質に合ったドッグフードを、ユーザーが与えています。「かわいい」と思っても食べ物や水を与えないでください。

●無断で盲導犬やユーザーの写真、動画などを撮らないでください。

ユーザーは視覚に障害がある方ですので、突然シャッター音がすると何を撮っているのかわからず不安になります。またユーザーが写り込む場合は本人のプライバシー侵害の恐れもあります。カメラのシャッター音やフラッシュにより、盲導犬が仕事に集中できなくなる可能性もあります。盲導犬の写真を撮りたい場合はユーザーに事前に声をかけ、了解をとってください。



パトラッシュの募金箱。
全国各地で活躍中!



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

パトラッシュ基金

全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、チャリティーオークションの開催、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っております。詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-14 uhb ビル
TEL 03-3574-6281 (平日 10:00~16:00)

公式サイト www.nippon-animation.co.jp/pattrash/



メットライフ生命は 1995 年以來、
盲導犬育成活動を支援しています。

 **MetLife**
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。

www.metlife.co.jp

2018
(平成30)
年度

全国盲導犬施設連合会 主な活動報告



「盲導犬普及啓発活動」を日本全国で38回実施

多くの皆様へ盲導犬について知ってもらうために全国各地へ出向き、盲導犬の仕事や訓練方法を紹介するイベントを実施しました。(主には募金箱設置店や寄附協力企業のご協力により開催)



ダイエー補助犬ふれあい教室
(株式会社ダイエー)



エコ博 (ユニー株式会社)



盲導犬ふれあい広場
(株式会社イトーヨーカ堂、株式会社セブン&アイ、
フードシステムズ、株式会社ヨークマート)



盲導犬ふれあい広場
(株式会社ヨークマート)



盲導犬ふれあい広場
(株式会社フジ)



交通安全。アクション
(日本自動車会議所)

パトラッシュ基金 ~活動報告~



2010年から始まったパトラッシュ基金は、現在までに2千万円を超える基金額を皆様よりお寄せ頂いております。ご協力頂いた皆様へ心よりお礼申し上げます。(写真はベルギー・フランダース政府貿易投資局様の出展ブースにて)



盲導犬受入の促進



補助犬ユーザーの受け入れをスムーズに実現していただけるように「補助犬同伴可ステッカー」を配布しました。



認定NPO法人全国盲導犬施設連合会には、日本全国の盲導犬協会8団体(PI3~PI4参照)が加盟しています。皆様からお寄せいただいた募金・寄附は日本全国の盲導犬育成と普及の為に、大切に活用させていただきました。

盲導犬普及を進める広報誌を発行



●「DUET27号」とポスターを
発行(年1回)。

DUET27号では、デビューした盲導犬とユーザーへのフォローアップ体制を中心に特集。募金箱と一緒に常設する他、各種イベントで配布しました。

●「盲導犬情報」を発行(年2回)。

盲導犬ユーザー、点字図書館、行政などへ盲導犬に関する情報を提供する為の冊子です。点字版、CD版の他、墨字(活字)版も発行しています。



全国盲導犬施設連合会ウェブサイトでも閲覧可能!

全国盲導犬連合会

検索

盲導犬育成費用への助成



盲導犬育成費用に対する自治体からの助成金には頭数・金額に限りがある為、加盟盲導犬協会が視覚障害者の方へ盲導犬を貸与する場合、全国盲導犬施設連合会から一部補助として、1頭ごとに200万円の助成・補助を実施しています。(2017年度は24頭分を助成・補助)

盲導犬訓練士・歩行指導員の資格認定



全国どここの盲導犬協会でもほぼ同じレベルの盲導犬を輩出できるように、全国盲導犬施設連合会では訓練士と歩行指導員の資格認定をしています。筆記試験・実技審査の結果、2018年度は7名の訓練士、3名の歩行指導員の資格を認定しました。

皆様のご支援・ご協力で2018年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。



各盲導犬協会の訓練士等が、現場での事例や研究成果を発表する「第4回盲導犬育成ジャパンセミナー」を実施。互いの知識を学び合う事で、良質な盲導犬の育成と視覚障害者の自立支援実現へ向けた、研鑽の場となりました。

国家公安委員会指定 加盟施設一覽



認定NPO法人

全国盲導犬施設連合会

HPアドレス: www.gd-rengokai.jp
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 濱本 捷子 HPアドレス: www.kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

世界的にも稀な木造犬舎「木香テラス」では、より家庭に近い環境の中で盲導犬を育成しています。木香テラスで育った盲導犬とともに、視覚障害者が安全に歩行し、安心して暮らせるよう、盲導犬の育成、社会への啓発活動に積極的に取り組んでいます。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫 HPアドレス: www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡早赤阪村東阪1202
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

日本ライトハウスは目の見えない・見えにくい方のための総合福祉施設です。盲導犬事業だけではなく、日本で初めての視覚障害リハビリテーションセンターを開設した施設でもあります。視覚障害のある方がその人に合った方法で積極的に社会参加できることを目標に活動しています。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 岸田 衛幸 HPアドレス: www.moudouken.org

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24
TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483

視覚障害者が笑顔で安全に歩けるように…役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組み、盲導犬使用者それぞれのニーズに応じたサービスを提供しております。また、社会全体へ視覚障害者や盲導犬への理解を深めて頂くために、地域の小・中学校や商業施設での啓発活動にも力を注いでいます。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 田中 久也 HPアドレス: www.fgda.or.jp

〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様に快適にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 伊藤 信賢 HPアドレス: www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は雪道歩行、在宅指導、老犬ホームなど、視覚障害者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

代表理事 平崎 憲夫 HPアドレス: www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285番地
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行等の生活訓練も行っております。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス: www.moudouken.net

東京事務所 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
総合センター TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030
神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599
仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990
島根 あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139

1967年8月10日に厚生省の許可を受け、日本で最初に設立された盲導犬育成団体です。2017年に設立50周年を迎えました。4つの訓練センターの特色は、神奈川は訓練の中心地、仙台は視覚障害リハビリ、富士宮は出産～引退犬まで一貫飼育、島根は受刑者のパピープログラムです。



社会福祉法人 中部盲導犬協会

理事長 殿塚 猷一 HPアドレス: www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋市中区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

